

(21) 令和7年(2025年)8月2日 土曜日

西穂落雷事故 冥福祈る

昭和42年に
生徒11人犠牲
深志高慰霊碑前で追悼式

昭和42(1967)年

た。
の霊を慰めた。

年に北アルプス・西穂 事故があつた午後1 登山に同行し、自ら

高岳を集団で登山して 時40分に合わせ、独標 も落雷に遭つた田中哲

いた松本深志高校2年 の方角に向き、黙とう 三さん(74) 金沢市

生が独標で落雷に遭 をささげた。倉田慎司 Ⅱは「事故があつたこ

い、生徒11人が亡くな 校長が追悼の辞を述べ とを理解したのは退院

つた遭難事故は1日、 「歳月が流れても、こ 後だった」と当時を振

発生から58年を迎え の悲しい出来事は決し り返り、「風化させず

た。同校で追悼式があ て忘れてはならない」 事故を語り継いでほし

り、遺族や同期生のほ と教訓を次世代に受け い」と願った。

か、現役高校生など約 継ぐ決意を語った。参 女子バスケットボー

100人が参列し、犠 列者は慰霊碑前に設け ル部は12人が参列し

牲者を悼むとともに、 られた献花台に向かつ た。福田彩乃さん(1

事故の再発防止を誓っ て手を合わせ、犠牲者 年)は「58年というと



慰霊碑に向かって手を合わせる参列者

遠く感じるが、先輩が つないでいかなければ
遭つた事故で身近に感 ば」と思いを強くして
じる」と話し、「後に いた。(久保田貴大)